

4-3 自転車保管場の整備

(1) 現 状



■保管場の設置状況

現在、末広自転車保管場をはじめ、市内に6箇所、収容台数11,200台の保管場を設置している。

■放置自転車等の台数

市内各駅周辺の自転車等の放置は、駅別駐輪場整備計画における整備計画対象区域内だけでも約1万4千台発生している。

■保管場の収容台数と放置台数

保管場の収容台数に対して、自転車等の放置台数が1.3倍と上回っており、放置自転車等の撤去体制を強化する上で、収容能力の強化が課題となっている。

浜田

1,700台

対象駅の放置台数（収容台数比）

2,233台

1.3

No.	駅名称	乗入	駐輪	放置
1	幕張本郷	2,596	2,084	512
2	幕張	1,892	1,829	63
3	新検見川	3,002	2,001	1,001
15	海浜幕張	2,733	2,076	657

都賀

900台

対象駅の放置台数（収容台数比）

2,362台

2.6

No.	駅名称	乗入	駐輪	放置
5	西千葉	1,969	831	1,138
8	都賀	2,344	1,771	573
38	動物公園	84	81	3
39	みつわ台	349	176	173
40	桜木	257	238	19
41	小倉台	395	383	12
42	千城台北	423	297	126
43	千城台	548	230	318

末広等

3,900台

対象駅の放置台数（収容台数比）

4,491台

1.2

No.	駅名称	乗入	駐輪	放置
6	千葉	5,603	3,455	2,148
7	東千葉	223	177	46
9	本千葉	485	202	283
10	蘇我	4,651	3,884	767
14	浜野	1,053	958	95
22	西登戸	51	26	25
23	新千葉	8	0	8
24	千葉中央・葭川公園	460	0	460
25	千葉寺	469	31	438
29	市役所前	33	0	33
30	栄町	141	0	141
32	県庁前	29	0	29
33	千葉公園	62	44	18

菅田

1,200台

対象駅の放置台数（収容台数比）

1,158台

1.0

No.	駅名称	乗入	駐輪	放置
11	鎌取	1,793	1,793	※調査では2,123台。 H19.7月に解消。
12	菅田	903	793	110
13	土気	1,847	1,418	429
26	大森台	322	203	119
27	学園前	264	18	246
28	おゆみ野	378	5	373

高浜

3,500台

対象駅の放置台数（収容台数比）

4,028台

1.2

No.	駅名称	乗入	駐輪	放置
4	稲毛	5,424	3,719	1,705
19	検見川	368	364	4
20	京成稲毛	650	481	169
21	みどり台	486	249	237
16	検見川浜	3,089	2,251	838
17	稲毛海岸	3,589	2,828	761
18	千葉みなと	526	305	221
34	作草部	236	200	36
35	天台	162	162	※調査では54台。 H20.3月に解消。
36	穴川	193	136	57
37	スポーツセンター	208	208	※調査では417台。 H20.3月に解消。

※収容台数は平成18年10月の市の調査実施時点のもの。その後の駐輪場の新設・廃止等により増減している駅がある。

(2) 保管場の運営に関する課題

※収容台数比…… 収容台数比は、保管場の収容能力に対する対象駅の放置台数の大きさを示している。
この数値が大きいくほど、撤去頻度が低下する。

【現況】 保管場の収容台数に対して、自転車等の放置台数は1.3倍となっている。

現 況	対象駅の 放置台数	= 1.3 …撤去頻度 1回／2.6月	※実際には、各駅の放置状況に応じて、優先順位をつけて実施。
	保管場の 収容台数		

【課題】 自転車等の放置解消のためには、保管場の収容能力を増強して撤去頻度を高める必要がある。

【目標】 撤去頻度を1月1回以上(平均)、つまり、収容台数比を0.5以下とする。

目 標	対象駅の 放置台数	= 0.5 …撤去頻度 1回／1月	➡ 放置抑制効果が高まる ※保管場管理システムの導入等により運営方法を効率化することで、さらに頻度が上昇することが期待できる。
	保管場の 収容台数		

【対策】 目標達成のための対策として、以下の3項目を実施する。

① 保管場を新設して収容能力を増強する。

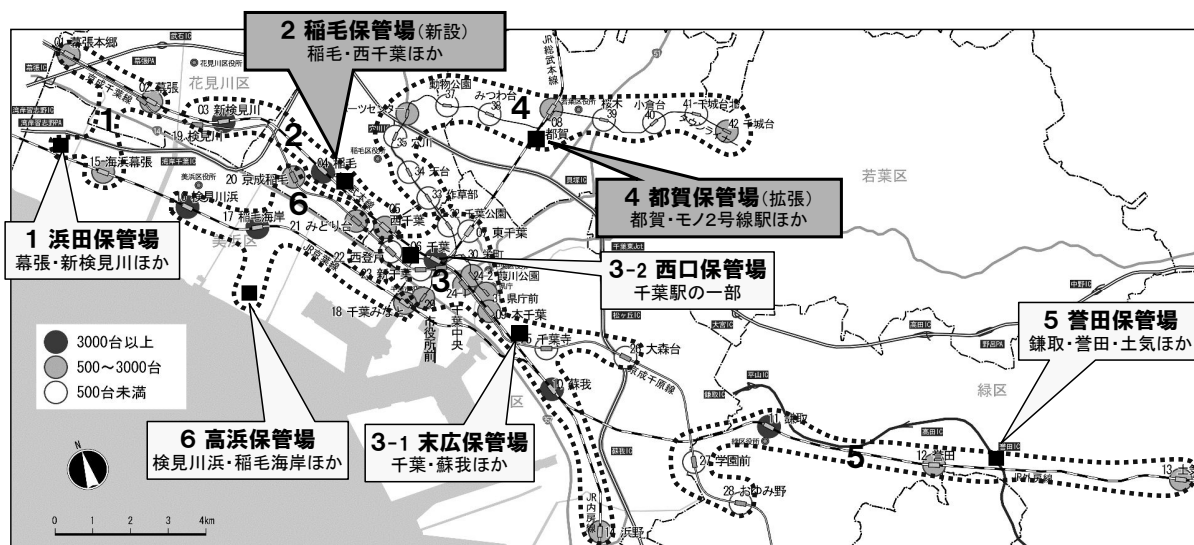
- 稲毛保管場の新設 (対象駅: 新検見川、稲毛、西千葉)
・ JRからの用地提供を受け、JR稲毛駅千葉駅側高架下に保管場を新設する。
- 都賀保管場の拡張
・ 未利用の陸橋下を活用して拡張する。
- 保管場に収容する対象駅の再編
・ 保管場間の収容台数比のバランスを考慮しつつ、保管場から距離の短い鉄軌道駅を対象とするよう再編する。

② 保管自転車等の返還・処分の手続きを迅速化し、回転率を高める。

③ その他(千葉県警察との協力関係の強化)

代表的な取り組みにおいて、保管場管理システムの導入等により対応。

(3) 保管場の収容能力の増強と対象駅の再編



1 浜田 1,700台

対象駅の放置台数 (収容台数比)
2,233台 1.3
再編後の台数 (収容台数比)
1,232台 0.7

No.	駅名称	乗入	駐輪	放置
1	幕張本郷駅	2,596	2,084	512
2	幕張駅	1,892	1,829	63
3	新検見川駅	3,002	2,001	1,001
15	海浜幕張駅	2,733	2,076	657

2 都賀 900台

200台 (拡張)
対象駅の放置台数 (収容台数比)
2,362台 2.6
再編後の台数 (収容台数比)
1,317台 1.2
整備時期 : 前期

No.	駅名称	乗入	駐輪	放置
5	西千葉駅	1,969	831	1,138
8	都賀駅	2,344	1,771	573
37	動物公園駅	84	81	3
38	みつわ台駅	349	176	173
39	桜木駅	257	238	19
40	小倉台駅	395	383	12
41	千城台北駅	423	297	126
42	千城台駅	548	230	318

3 末広等 3,900台

対象駅の放置台数 (収容台数比)
4,491台 1.2
再編後の台数 (収容台数比)
4,610台 1.2

No.	駅名称	乗入	駐輪	放置
6	千葉駅	5,603	3,455	2,148
7	東千葉駅	223	177	46
9	本千葉駅	485	202	283
10	蘇我駅	4,651	3,884	767
14	浜野駅	1,053	958	95
22	西登戸駅	51	26	25
23	新千葉駅	8	0	8
24	千葉中央駅・葭川公園駅	460	0	460
25	千葉寺駅	469	31	438
29	市役所前駅	33	0	33
30	栄町駅	141	0	141
31	県庁前駅	29	0	29
32	千葉公園駅	62	44	18

4 稲毛 収容台数は対象駅の 放置台数に応じて確保

対象駅の放置台数 (収容台数比)
3,844台 1.0以下

整備時期 : 前期
整備箇所 : JRの高架下
(稲毛駅第3駐輪場を一部含む)

(対象駅)
新検見川駅 1,001 台
稲毛駅 1,705 台
西千葉駅 1,138 台
計 3,844台

5 誉田 1,200台

対象駅の放置台数 (収容台数比)
1,158台 1.0
再編後の台数 (収容台数比)
1,039台 0.9

No.	駅名称	乗入	駐輪	放置
11	鎌取駅	1,793	1,793	※調査では2,123台。 H19.7に解消。
12	誉田駅	903	793	110
13	土気駅	1,847	1,418	429
26	大森台駅	322	203	119
27	学園前駅	264	18	246
28	おゆみ野駅	378	5	373

6 高浜 3,500台

対象駅の放置台数 (収容台数比)
4,028台 1.2
再編後の台数 (収容台数比)
2,230台 0.6

No.	駅名称	乗入	駐輪	放置
4	稲毛駅	5,424	3,719	1,705
19	検見川駅	368	364	4
20	京成稲毛駅	650	481	169
21	みどり台駅	486	249	237
16	検見川浜駅	3,089	2,251	838
17	稲毛海岸駅	3,589	2,828	761
18	千葉みなと駅	526	305	221
33	作草部駅	236	200	36
34	天台駅	162	162	※調査では54台。 H20.3に解消。
35	穴川駅	193	136	57
36	スポーツセンター駅	208	208	※調査では417台。 H20.3に解消。

※矢印は、近接の保管場への収容先の変更を示す。

※斜字の駅については、平成20年3月末で収容台数が不足していることを示す。

※収容台数は平成18年10月の市の調査実施時点のもの。その後の駐輪場の新設・廃止等により増減している駅がある。